

令和3年

疾患モデル研究センター 技術支援セミナー

2021年6月22日（火） 18:30～19:30

順天堂大学
10号館 1階 105カンファレンスルーム



ゲノム編集のための 多重ガイドRNA発現アデノベクターの開発とその応用

講師：中西 友子 先生

(順天堂大学大学院疾患モデル研究センター疾患モデル研究室 助教)

座長：佐藤栄人 (同上 前任准教授)

概要：

ゲノム編集は任意の標的配列を正確に認識し切断する革新的な技術であり、基礎研究にとどまらず臨床研究においても多くの分野でその応用が期待されている。その中でも昨年ノーベル賞を受賞したCRISPR/Cas9システムは、それまでのゲノム編集法より簡単で効率がよい。しかし意図しないオフターゲット切断が、この技術をヒトへ応用する際のボトルネックの一つになっている。これまで我々は、最大で8個のガイドRNAを同時発現するアデノウイルスベクター（AdV）の開発に成功し（Sci. Rep 2021, J Gene Med 2019）、世界的に使用されているAAVではできないダブルニックング法によりオフターゲット切断を回避し安全にゲノム編集できる系を立ち上げている（日経産業新聞、令和元年8月14日）。なお世界では2個までしか報告がない。

すでにマウス肝臓におけるin vivoゲノム編集モデルの構築もできており、現在は例として、遺伝性疾患であるフェニルケトン尿症、ヒトパピローマウイルスによる子宮頸がんの悪性化予防について、治療ベクターの開発に取り組んでいる。このように遺伝病やがんを標的としたゲノム編集治療および基礎研究への応用にむけたアデノベクターの開発について紹介するとともに、ゲノム編集治療における高額な特許状況とそれを回避するベクターについても言及する。現在、目的に応じてベクターを改良し新たな基礎・応用技術を進める共同研究を募集している。

申込方法：以下の申込フォームよりお申し込みください。

開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送りいたします。

LIVE配信（Zoom）にて開催

6月21日17時締切

当日は順天堂大学10号館1階105カンファレンスルームで講演致します。聴講もできますので、お時間がありましたら会場でのご参加もお待ちしております。

お問い合わせ：疾患モデル研究室 佐藤栄人(内線3634)

